

# 競 技 上 の 注 意

2022年度北海道卓球選手権大会  
審判長 太田 真理

現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

## 1. ルールの概要

- ・ 11本5ゲームマッチで行う。
- ・ ゲーム開始後10分経過した場合は、促進ルールを適用する。但し、双方のポイント合計が18（9-9、10-8）以上に達した場合は、適用されない。
- ・ ゲーム間の休憩時間は、1分以内。
- ・ タオルの使用は、6ポイント毎と最終ゲームのエンド交換時のみ。
- ・ サービスは、開始から打球までボールをレシーバーから隠してはならない。また、審判員が正規のサービスであることを確信できるよう行うことは、競技者の責任である。
- ・ ポイントが決定した後は、速やかに次のサービスあるいはレシーブの体勢をとり、競技時間の遅延を避けること。

## 2. ボール、ラバー、ラケットについて

- ・ ラバーは、ラケット本体よりも大きかったり小さかったりしないこと。公認マーク・メーカー商標・ロゴ等は、グリップに最も近い場所にはっきり見えるように貼らなければならない。
- ・ ゲーム中にラケットを破損した場合は、スペアラケットか競技領域内で手渡されたもので直ちにプレーを再開すること。
- ・ ラケットは、JTAA、ラバーは、JTAAまたはITTFの公認マークがないものを使用する場合は、予め審判長の許可を受けること。
- ・ 試合中のインターバルでは、ラケットをテーブルの上に置くこと。
- ・ 公認の接着剤、シート以外の使用は認められない。試合終了後のラケット検査において不正が判明した場合はその試合は負けとなり、試合前の検査で判明した場合は別のラケットで試合すること。
- ・ ラバーの貼替えは、決められた場所で行うこと。

## 3. 競技の服装

- ・ ゼッケンは、2022年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
- ・ 競技服装は、JTAA公認マークのあるものを着用すること。
- ・ ダブルスのペアは、靴及び靴下を除き同じ服装であること。
- ・ ヘアバンド・リストバンド・スパッツは着用できるが、（公財）日本卓球協会指定業者以外のマークが見えることは認められない。
- ・ 肘、膝より長いアンダーウェアは着用できない。但し容認するに足る事由がある者は予め審判長に申し出て判断を仰ぐこと。

4. アドバイスは、ジュニアの部ではゲームとゲームの休息时间あるいは、認められた中断時間のみ受ける事が出来る。一般の部は、ラリー中を除いていつでも受ける事が出来るが、競技の妨げにならないように十分注意して下さい。

5. 全種目とも敗者審判とする。ただし、準々決勝からは公認審判員を配置する。

6. 準々決勝からはタイムアウト制が適用となる。（代表決定戦も同様）

7. ランダムにラケットコントロール検査を行う場合がある。